

令和5年度  
市民満足度調査  
結果報告書

令和5年10月  
小矢部市

## 目 次

I	調査の概要	1
1	令和5年度市民満足度調査実施要領	1
2	回答結果	1
3	回答者の内訳	2
II	調査結果の概要	5
	○第7次総合計画に掲げた政策ごとの「満足度」及び「重要度」について	5
	○政策ごとにみる「重要度」と「満足度」との関係	8
	○小矢部市に対する総合的な「満足度」について	10
	○小矢部市での暮らしについて	12
	○人口増加に向けた取組について	14
	○小矢部市に対する愛着や誇りについて	14
	○物価高騰について	16
	○市への意見・要望など	18
III	使用した調査票	26

— この冊子の見方 —

図表中の回答比率は百分率で示し、小数点第2位を四捨五入した。  
したがって百分比が100%とならない場合や超える場合がある。

# I 調査の概要

## 1 令和5年度市民満足度調査 実施要領

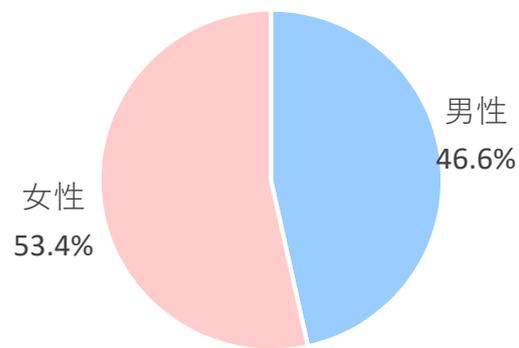
- 1 概要 市政の現状について、市民のまちづくりへの考え方及び意見を調査し把握することにより、市民のニーズに対応した市政運営を目指すため、平成21年度から2年ごとに実施するもの。
- 2 対象者 満18歳以上の市民から無作為抽出した1,200人（有権者の約5%）  
※ ただし、年代別分析を一定程度重視するため、前回調査の年代別回収率を参考に、各年代の対象者数を決定した。
- 3 調査基準日 令和5年7月1日
- 4 配布方法 調査票を郵送により配布
- 5 回答方法 同封の郵送提出用封筒による郵送回答又はインターネット回答
- 6 回答期限 令和5年7月10日（月）  
※ ただし、令和5年8月8日（火）までの回答分を、調査結果分析の対象とした。
- 7 調査項目
  - ・ 第7次総合計画に係る各種政策の満足度及び重要度並びに市に対する総合的な満足度
  - ・ 小矢部市での暮らし
  - ・ 人口増加に向けた取組
  - ・ 小矢部市に対する愛着や誇り
  - ・ 物価高騰が家計に与える影響
- 8 活用方法 市民の満足度を評価指標として、第7次総合計画における政策目標の達成状況を検証し、今後の行政運営に役立てる。
- 9 結果の公表 広報おやべ及びホームページで公表する。
- 10 実施機関 小矢部市企画政策部企画政策課

## 2 回答結果

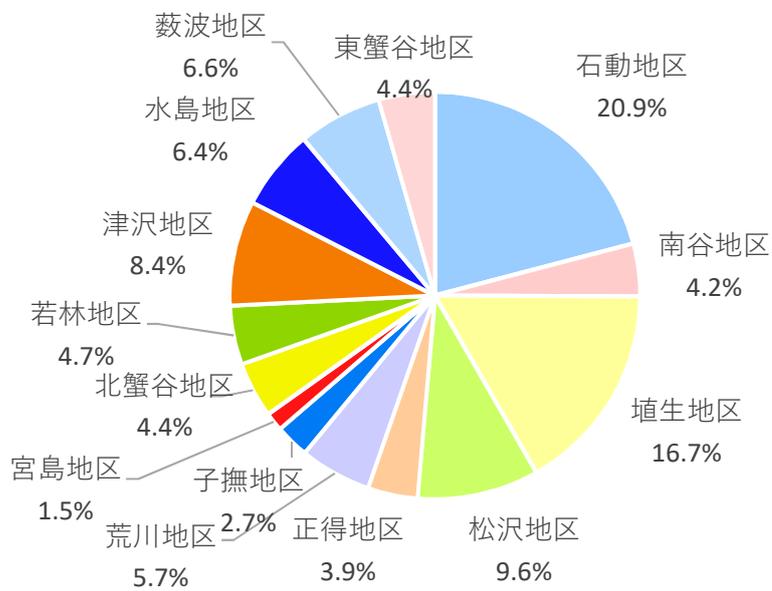
- 1 対象者 1,200人
- 2 回答者 408人
- 3 回答率 34.0%

### 3 回答者の内訳

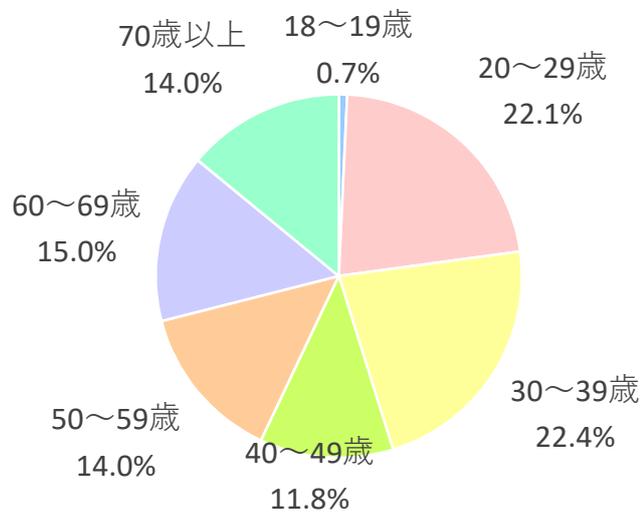
#### (1) 性別



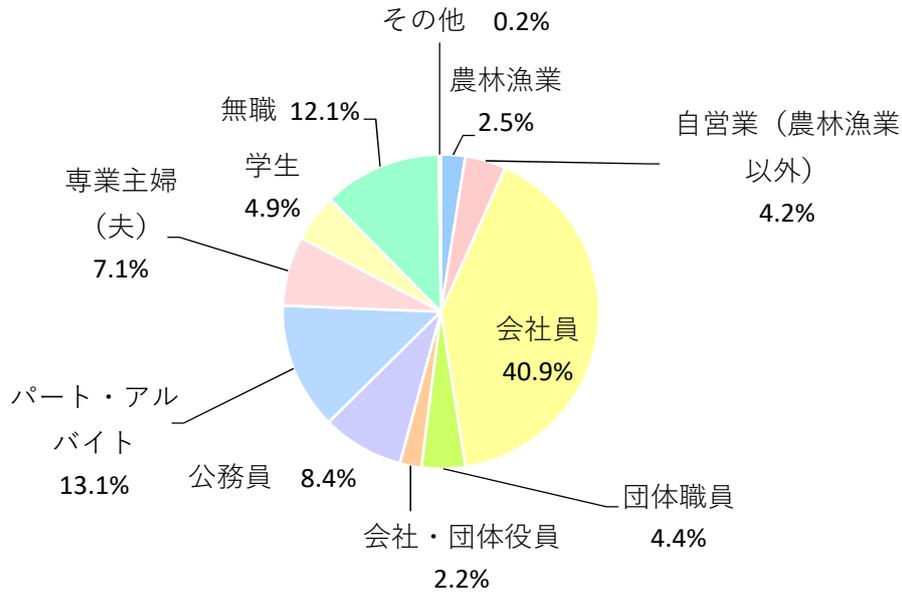
#### (2) 居住地区



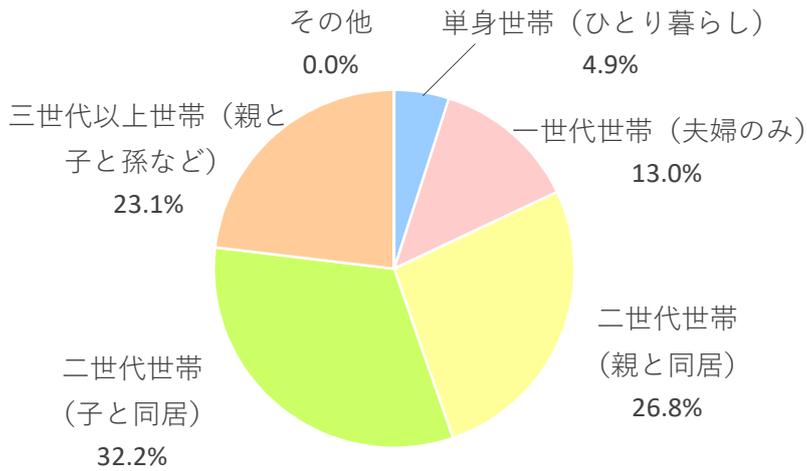
#### (3) 年齢



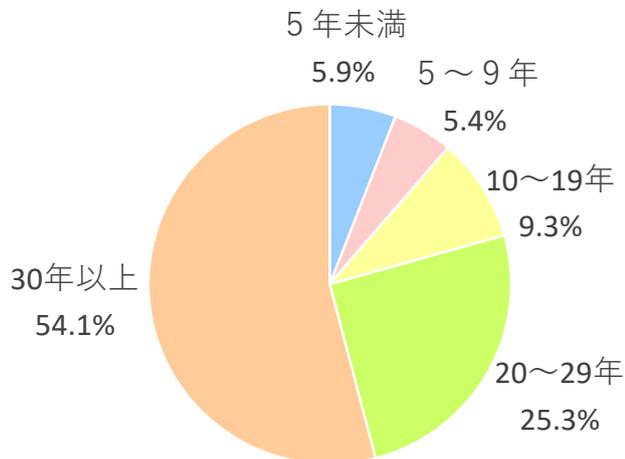
(4) 主な職業



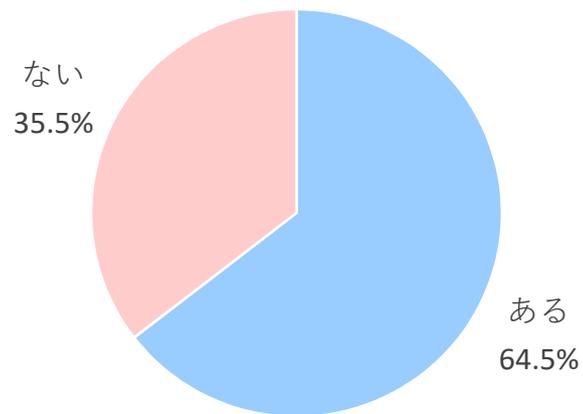
(5) 現在の世帯構成



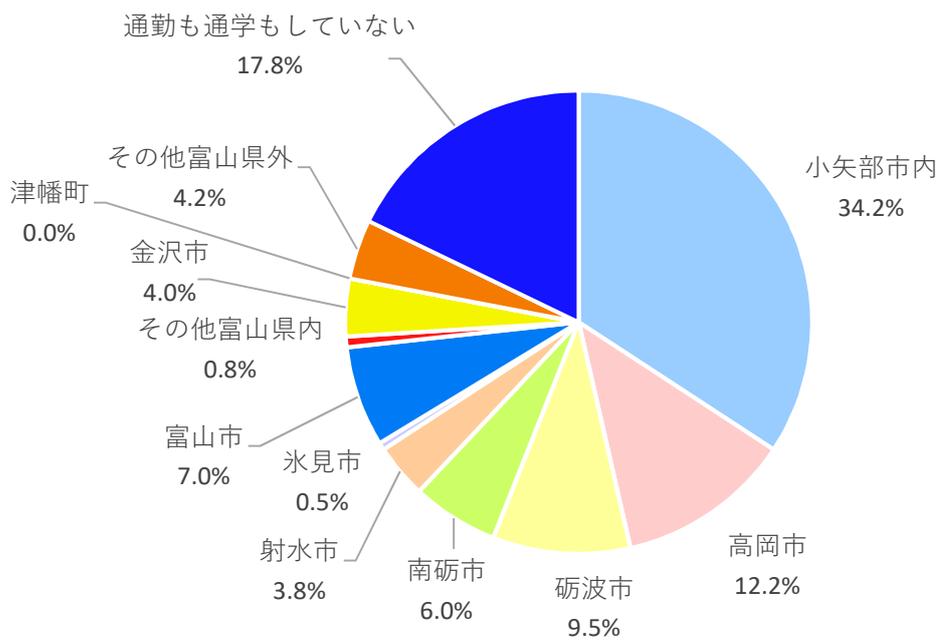
(6) 小矢部市居住の通算年数



(7) 小矢部市外居住の経験



(8) 通勤・通学先



## Ⅱ 調査結果の概要

### ○第7次総合計画に掲げた政策ごとの「満足度」及び「重要度」について

#### ●「満足度」の高い政策及び「満足度」の低い政策

・全体にみる「満足度」の高い政策及び「満足度」の低い政策（上位10政策）

第7次総合計画に掲げた43の政策に対し、現状の満足度について聞いた。「満足度」について「高い」及び「やや高い」と回答のあったものを「満足度」が高いと分類するとともに、「やや低い」及び「低い」と回答のあったものを「満足度」が低いと分類し、全ての回答に対する割合として示した。

「満足度」の高い政策は「⑳生活環境の保全」が38.1%で1位であり、次いで「⑨上下水道の整備」と「㉒消防・救急体制の充実」が37.5%で2位である。前回調査\*と比較すると上位3項目に順位の変動はなかった。

一方、「満足度」の低い政策は「④中心市街地の活性化」が58.2%で1位であり、次いで「②商工業の振興」が52.0%で2位、「⑭観光の振興」が48.2%で3位である。

なお、「⑲雪に強いまちづくりの推進」は「満足度」の高い政策で4位であったが、一方で「満足度」の低い政策で9位となっている。

図表1 全体にみる「満足度」の高い政策及び「満足度」の低い政策

順位	「満足度」の高い政策	割合	順位	「満足度」の低い政策	割合
1位	⑳生活環境の保全	38.1%	1位	④中心市街地の活性化	58.2%
2位	⑨上下水道の整備	37.5%	2位	②商工業の振興	52.0%
2位	㉒消防・救急体制の充実	37.5%	3位	⑭観光の振興	48.2%
4位	⑲雪に強いまちづくりの推進	31.1%	4位	⑦魅力ある市街地等の形成	43.9%
5位	㉓交通安全対策の充実	29.8%	5位	⑯移住・定住の促進	43.2%
6位	⑧道路ネットワークの充実	29.2%	6位	⑮地域間・国際交流の推進	42.2%
7位	㉔生涯スポーツの充実	27.6%	7位	⑤企業立地の促進	42.0%
8位	㉕生涯にわたる学習活動の推進	26.7%	8位	⑫交通体系の充実	39.9%
9位	㉖犯罪を起こさせないまちづくり	26.2%	9位	⑲雪に強いまちづくりの推進	37.5%
10位	㉗地域医療体制の充実と健康づくり	25.7%	10位	③地域ブランドの振興	36.0%

前回調査\*：令和3年度市民満足度調査をいう。

●「重要度」の高い政策

- ・基本目標ごとにみる「重要度」の高い政策

第7次総合計画に掲げた43の政策に対し、まちづくりの基本目標ごとに重要度が高いと思う政策を聞いた。基本目標ごとの全ての回答に対する割合として示した。

「重要度」が高い政策は、基本目標1においては「④中心市街地の活性化」、基本目標2においては「⑩移住・定住の促進」、基本目標3においては「⑩雪に強いまちづくりの推進」、基本目標4においては「⑩持続可能な自治体経営の確立」、基本目標5においては「⑩学校教育の充実」、基本目標6においては「⑩妊娠・出産・子育て支援の充実」である。全ての基本目標において前回調査時と1位の政策が変わらなかった。

図表2 基本目標ごとにみる「重要度」の高い政策

<まちづくりの基本目標1>

魅力あふれる産業と経済活力のみなぎるまち

順位	「重要度」の高い政策	割合
1位	④中心市街地の活性化	31.3%
2位	⑤企業立地の促進	18.5%
2位	⑥雇用の安定	18.5%
4位	②商工業の振興	18.0%
5位	①農業・農村の振興	8.0%
6位	③地域ブランドの振興	5.8%

<まちづくりの基本目標2>

人をよびこむ都市空間と多彩な交流でにぎわうまち

順位	「重要度」の高い政策	割合
1位	⑩移住・定住の促進	24.1%
2位	⑦魅力ある市街地等の形成	21.4%
3位	⑫交通体系の充実	16.6%
4位	⑩公園・緑地の充実	8.0%
5位	⑪住宅・宅地の充実	7.8%
6位	⑧道路ネットワークの充実	7.5%
7位	⑭観光の振興	7.0%
8位	⑨上下水道の整備	4.0%
9位	⑬地域情報化の推進	2.0%
10位	⑮地域間・国際交流の推進	1.5%

<まちづくりの基本目標3>

未来にやさしい環境と安全安心に暮らせるまち

順位	「重要度」の高い政策	割合
1位	⑩雪に強いまちづくりの推進	43.1%
2位	⑪防災・危機管理体制の充実	17.3%
3位	⑩生活環境の保全	15.5%
4位	⑩犯罪をおこさないまちづくりの推進	8.9%
5位	⑩地球温暖化防止活動の推進	5.6%
6位	⑩豊かな森の保全・活用	4.6%
7位	⑩交通安全対策の充実	4.1%
8位	⑩消防・救急体制の充実	1.0%

<まちづくりの基本目標4>

市民と行政が協働して自治体経営を支えるまち

順位	「重要度」の高い政策	割合
1位	⑩持続可能な自治体経営の確立	53.8%
2位	⑩市民と行政との協働の推進	16.8%
3位	⑩人権の尊重	10.7%
4位	⑩男女共同参画社会の推進	10.2%
5位	⑩開かれた市政の推進	8.4%

＜まちづくりの基本目標5＞

人をすこやかにはぐくむ教育と歴史文化がいきづくまち

順位	「重要度」の高い政策	割合
1位	③⑩学校教育の充実	54.1%
2位	③③生涯にわたる学習活動の推進	12.6%
3位	③①青少年の健全育成	11.9%
4位	③②生涯にわたる学習活動の推進	11.1%
5位	③⑤歴史遺産・文化財の保存と活用	5.9%
6位	③④芸術・文化の振興	4.4%

＜まちづくりの基本目標6＞

心がやすらぐ健康とあたたかな福祉で支え合うまち

順位	「重要度」の高い政策	割合
1位	④⑩妊娠・出産・子育て支援の充実	27.1%
2位	③⑦社会保障の充実	16.2%
3位	③⑥域医療体制の充実と健康づくりの推進	15.6%
4位	④③高齢者福祉の充実	14.6%
5位	③⑨結婚支援の推進	13.8%
6位	④②障害者及び障害児福祉の充実	4.5%
7位	④①就学前教育・保育の充実	4.2%
8位	③⑧地域ぐるみ福祉の推進	4.0%

## ○政策ごとにみる「重要度」と「満足度」との関係

重要度と満足度のそれぞれについて平均値 (0.0) からのばらつきを指数化し、重要度と満足度との関係を4分類化したものが図表3である。

この図表はCS（顧客満足度）ポートフォリオ分析とも呼ばれ、「満足度」と「重要度」からマッピングし「優先的改善項目」を把握する分析手法で、A：重点維持項目、B：重点改善項目、C：維持項目、D：改善項目を確認、評価するために幅広い分野で活用されている。重要度を横軸に、満足度を縦軸にし、市政の進むべき方向性を分析したものである。

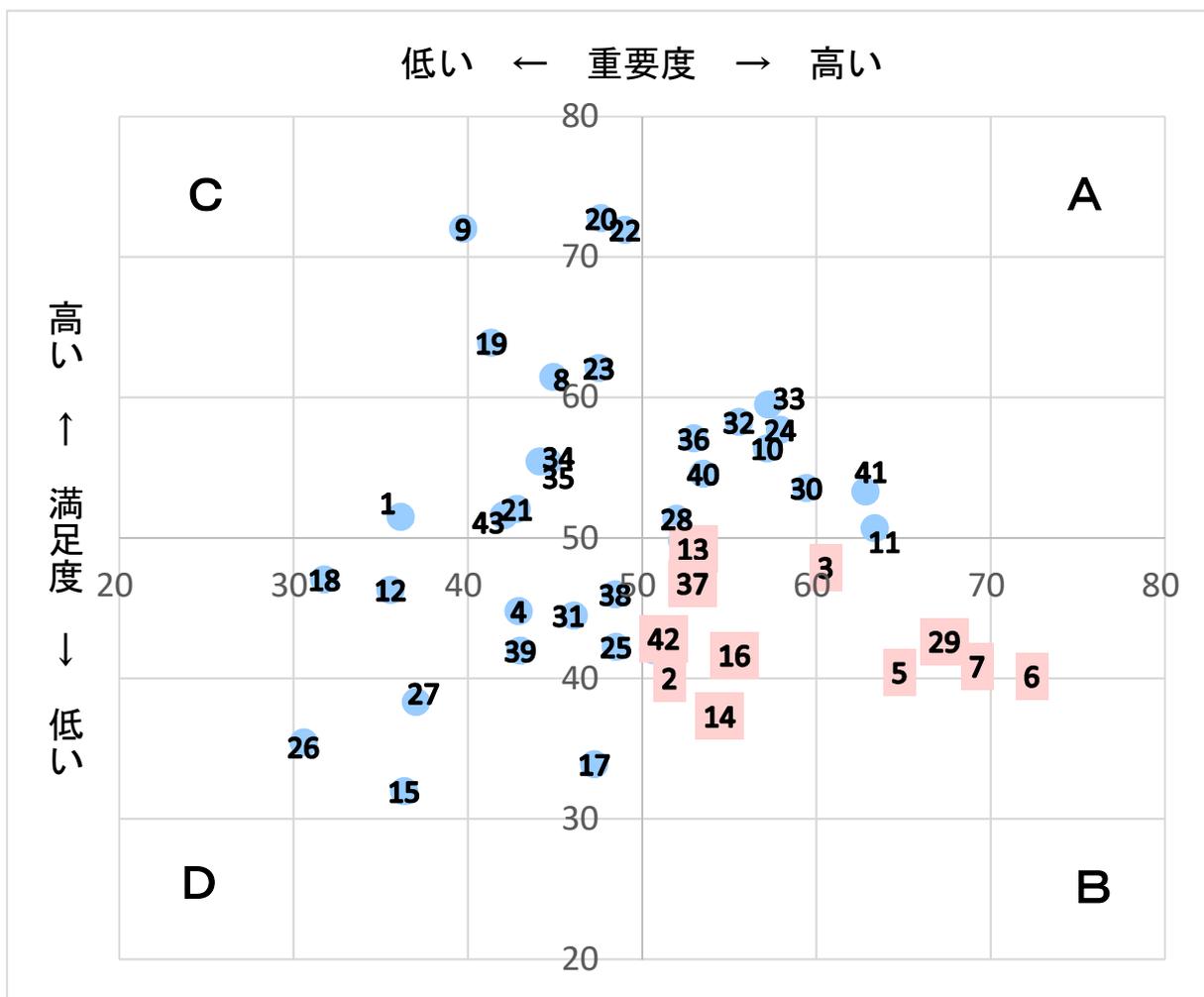
A：重点維持項目…重要度も満足度も高い項目。現時点での満足度の源泉と考えられ、引き続き満足度が下がらないようにする必要がある。

B：重点改善項目…重要度が高いが満足度が低い項目。総合満足度を上げるために最優先で改善しなければならない。

C：維持項目…満足度は高いが、あまり総合評価に起因しない項目。現状を維持する。

D：改善項目…総合評価への影響は少ないが、満足度が低い項目。重点改善項目の次に改善を必要とする。

図表3 重要度と満足度との関係



4分類の中で最優先に対応すべき政策は、「B：重要度が高く、満足度が低い政策」である。具体的には、《産業・経済》分野では「②商工業の振興」、「③地域ブランドの振興」、「⑤企業立地の促進」、「⑥雇用の安定」、《都市基盤整備・交流》分野では「⑦魅力ある市街地等の形成」、「⑬地域情報化の推進」、「⑭観光の振興」、「⑯移住・定住の促進」、《市民・行政協働の自治体経営》分野では「⑲持続可能な自治体経営の確立」、《健康・福祉》分野では「⑳社会保障の充実」、「㉔障害者及び障害児福祉の充実」となっている。※ ◆印は前回調査と同様の分類となったもの。

A：重要度、満足度とも高い政策 10 施策	
⑩公園・緑地の充実	◆⑪住宅・宅地の充実
⑳犯罪をおこさないまちづくりの推進	◆㉔開かれた市政の推進
◆㉑学校教育の充実	㉒生涯にわたる学習活動の推進
㉓生涯スポーツの推進	◆㉕地域医療体制の充実と健康づくりの推進
◆㉖妊娠・出産・子育て支援の充実	◆㉗就学前教育・保育の充実

B：重要度が高く、満足度が低い政策 11 施策	
◆②商工業の振興	◆③地域ブランドの振興
◆⑤企業立地の促進	◆⑥雇用の安定
◆⑦魅力ある市街地等の形成	⑬地域情報化の推進
◆⑭観光の振興	◆⑯移住・定住の促進
◆⑲持続可能な自治体経営の確立	㉑社会保障の充実
㉔障害者及び障害児福祉の充実	

C：重要度が低く、満足度が高い政策 11 施策	
◆①農業・農村の振興	⑧道路ネットワークの充実
◆⑨上下水道の整備	⑲雪に強いまちづくりの推進
◆⑲生活環境の保全	㉑防災・危機管理体制の充実
◆㉒消防・救急体制の充実	◆㉓交通安全対策の充実
◆㉕芸術・文化の振興	◆㉖歴史遺産・文化財の保存と活用
㉗高齢者福祉の充実	

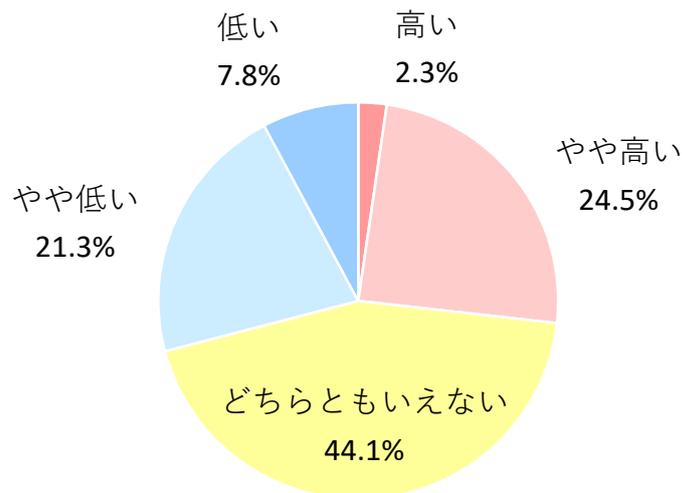
D：重要度、満足度とも低い政策 11 施策	
④中心市街地の活性化	◆⑫交通体系の充実
◆⑮地域間・国際交流の推進	◆⑰地球温暖化防止活動の推進
◆⑱豊かな森の保全・活用	㉕市民と行政との協働の推進
◆㉖男女共同参画社会の推進	㉗人権の尊重
㉙青少年の健全育成	㉚地域ぐるみの福祉の推進
◆㉛結婚支援の推進	

### ○小矢部市に対する総合的な「満足度」について

小矢部市に対する総合的な「満足度」を全体で見ると、「高い」（「高い」、「やや高い」計）が26.8%を占め、一方、「低い」（「やや低い」、「低い」計）が29.1%を占める。また、「どちらともいえない」の割合が最も高く44.1%である。

前回調査と比べ、「高い」の割合が30.3%から26.8%に3.5ポイント減少し、「低い」の割合が26.6%から29.1%に2.5ポイント増加した。

図表4 小矢部市に対する総合的な「満足度」

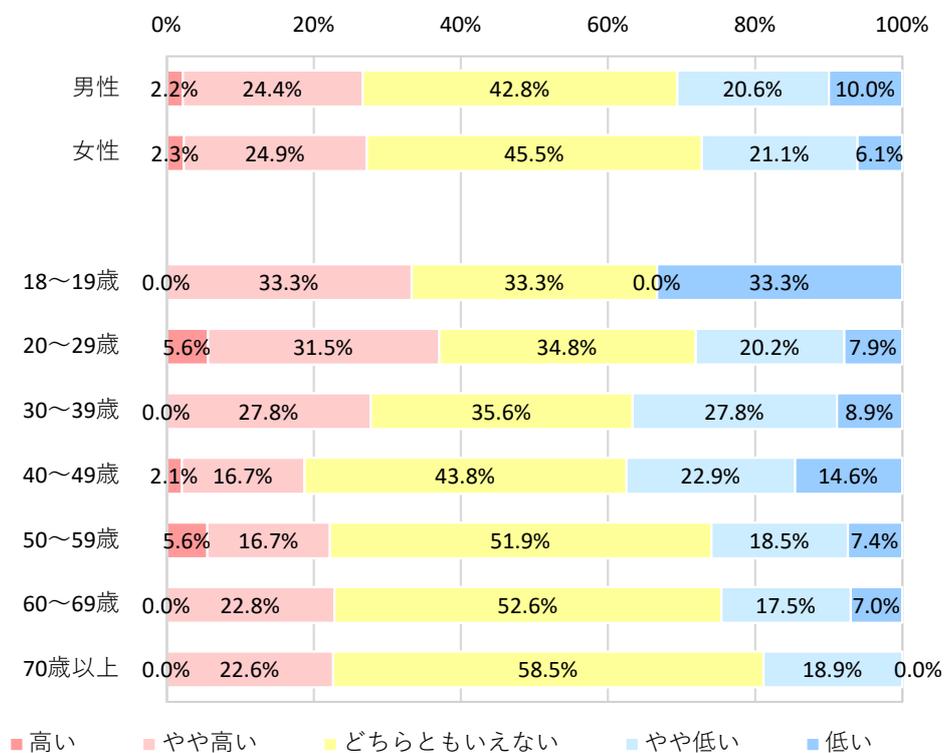


性別にみると、「高い」（「高い」、「やや高い」計）が男性は26.6%、女性は27.2%、「低い」（「やや低い」、「低い」計）が男性は30.6%、女性は27.2%、「どちらともいえない」が男性は42.8%、女性は45.5%である。前回調査と比べ、「低い」の割合が男性は31.5%から30.6%に0.9ポイント減少し、女性は22.4%から27.2%に4.8ポイント増加している。

年代別にみると、「高い」の割合は20～29歳が最も高く37.1%である。前回調査では50歳～59歳と60歳～69歳における「高い」の割合がそれぞれ17.6%、19.0%であったが、今回調査では、22.3%、22.8%と増加している。

なお、前回調査と比べ、「高い」の割合は40歳～49歳が最も減少しており、31.8%から18.9%に12.9ポイント減少し、「低い」の割合は30～39歳が最も増加しており、27.8%から36.7%に8.9ポイント増加している。

図表5 属性別（性別・年代別）小矢部市に対する総合的な「満足度」



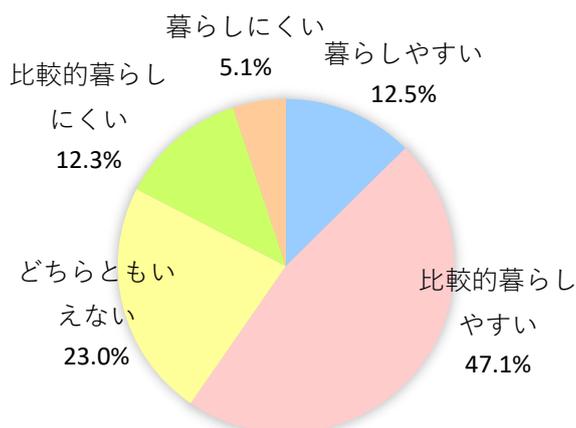
## ○小矢部市での暮らしについて

小矢部市における暮らしについて聞いた。

小矢部市での暮らしについて、「暮らしやすい」（「暮らしやすい」「比較的暮らしやすい」計）が59.6%、「暮らしにくい」（「暮らしにくい」「比較的暮らしにくい」計）が17.4%であった。

その理由については、表のとおりとなっている。

図表6 小矢部市での暮らしについて



「暮らしやすい」とした理由	回答数	「暮らしにくい」とした理由	回答数
自然環境に恵まれている	120	自然環境が乏しい	1
買い物に便利	77	買い物が不便	48
交通の便が良い	59	交通の便が悪い	37
災害が少ない	165	災害が多い	1
治安が良い	143	治安が悪い	1
地域のつながりが良い	42	地域のつながりが希薄	12
働く場所が多い	5	働く場所が少ない	32
教育環境に恵まれている	46	教育環境に恵まれていない	13
福祉・医療が充実している	22	福祉・医療が不足している	23
子育て支援が充実している	25	子育て支援が不十分	20
文化・教養等の公共施設が充実	19	文化・教養等の公共施設が不十分	11
その他	7	その他	12
計	730	計	211

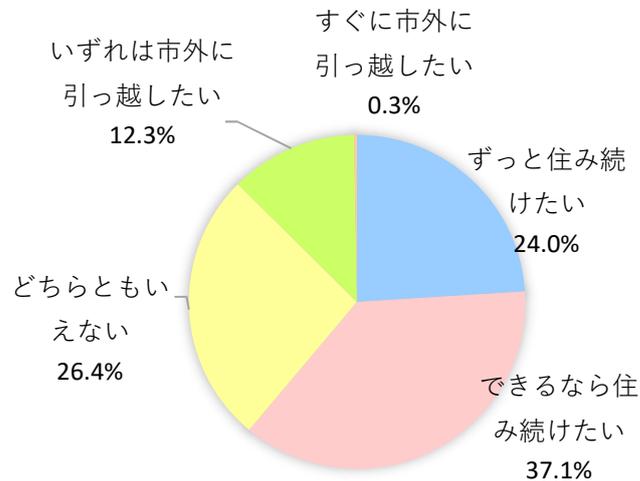
※複数回答可

「その他」としては「暮らしやすい」とした理由は「高岡市・富山市・金沢市への通勤が可能」「時間の流れがゆっくり」などの回答があった。また、「暮らしにくい」とした理由は「子どもが遊べる場所が少ない」「街灯が少ない」「地域での役割が負担」などの回答があった。

また、今後も小矢部市に住み続けたいかを聞いた。「住み続けたい」（「ずっと住み続けたい」「できるなら住み続けたい」計）が61.1%、住み続けたくない（「すぐに市外に引っ越したい」「いずれは市外に引っ越したい」計）が12.6%である。

その理由については、表のとおりとなっている。

図表7 今後も小矢部市に住み続ける意思



「住み続けたくない」とした理由	回答数
通勤・通学が不便	16
買い物などの日常生活が不便	26
保育・教育環境が不十分	7
医療機関や福祉サービスが不十分	16
働く場所がない	25
娯楽施設など遊べる場所が少ない	28
治安が悪く、暮らしていて不安	2
雪の多さ・冬の寒さが厳しい	18
住宅に不満がある	6
地価や家賃が高い	4
地域に溶け込めない	7
進学や転勤の都合で当面居住しているだけ	9
その他	11
計	175

※複数回答可

なお、「その他」として「地域活動への参加者が少ない」「家の前、通勤路の除雪がない」「公共交通が不便」「空き家による周辺環境の悪化」などの回答があった。

## ○人口増加に向けた取組について

小矢部市が実施している又は実施予定の取組について、充実してほしい施策を聞いたところ次のとおりである。

図表8 充実してほしい施策

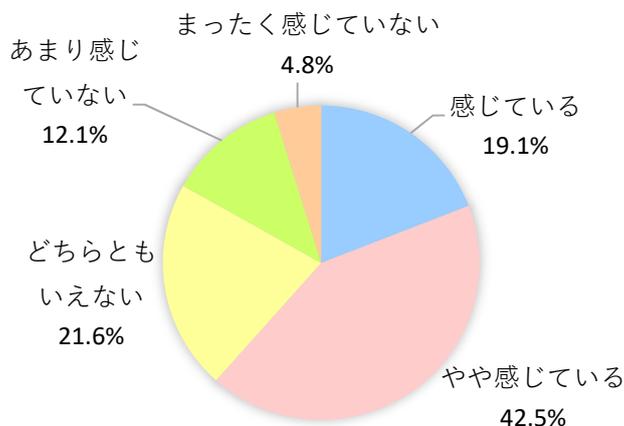
充実してほしい施策	回答数
⑫安心して暮らせる生活環境の整備	145
①企業誘致の推進	125
⑩妊娠～子育てまでの切れ目ない支援	119
⑦石動駅周辺整備や中心市街地の活性化	112
⑥商業施設の誘致	103
⑤道路・交通ネットワークの充実	97
⑬地域医療体制の充実	97
④住宅施策の充実	80
②U I J ターンの促進	66
⑪教育及び生涯学習環境の整備	64
⑨結婚支援の推進	60
⑧移住・定住を促進する助成制度	57
③農林業における担い手の確保	53

※複数回答可（3つまで）

## ○小矢部市に対する愛着や誇りについて

小矢部市に愛着や誇りを感じているかを聞いたところ、結果は次の図表のとおりである。

図表9 小矢部市に対する愛着や誇りについて



また、あわせて聞いた「小矢部市を表現する言葉」と「その理由」の主なものは、次のとおりである。

年齢	居住地区	小矢部市を表現する言葉	理由
18～19 歳	石動	住みにくい	学生の視点から見て娯楽などが少なく、アクセスが悪すぎる。
20～29 歳	埴生	歴史、伝統にあふれたまち	桜町縄文遺跡、石動曳山祭、津沢夜高あんどん祭など歴史・伝統にあふれているから。
20～29 歳	北蟹谷	都市の中間地点	高岡や金沢などのちょうど中間に位置していて、アクセスだけは良いから。
20～29 歳	正得	車が必ず必要な町	買い物に行くにも大変だから。
20～29 歳	正得	買い物不便	スーパーなどが少ない。
30～39 歳	松沢	ベッドタウン	金沢と富山市へのアクセス(鉄道)が便利。
30～39 歳	水島	若い世帯には暮らしやすい所かも	土地が比較的安い・車が運転できれば比較的何処でも行きやすい・子育て支援が恵まれていると思う。
30～39 歳	津沢	保守的なまち	前例がないことへの柔軟性がない。検討すらしない。
30～39 歳	正得	田舎	田畑が多く、栄えているとは言いがたい。
40～49 歳	水島	ホッケーのまち	ホッケーに力が入っているから。
40～49 歳	埴生	メルヘンなまち	メルギュー、メルモモによるPR活動。「メルヘン」をキャッチフレーズにしている。
40～49 歳	子撫	もったいない	稲葉山、アウトレットなど観光土地を活かしきれていない。
50～59 歳	若林	心の落ち着く場所	生まれ育ててもらった地域社会(人とつながり)があったから。
50～59 歳	松沢	柔軟	いろんな考え方を認める器を持っているから。
50～59 歳	藪波	活気がないまち	商業施設が少ないから。
50～59 歳	東蟹谷	通りすがりの市	東側に高岡、西側に金沢。充実感がない。
60～69 歳	石動	比較的バランスのとれたまち	公共交通機関、ショッピングセンター、病院等が適度にあり、日常生活を送るにあたり特に不便性を感じないから。
60～69 歳	藪波	こじんまりで堅実な市民が多いまち	市民も行政も堅実で無理をせず冒険をしなくなっているの、周りの市と徐々に差ができ、魅力に欠ける市になっている。

年齢	居住地区	小矢部市を表現する言葉	理由
60～69歳	水島	石橋をたたいて渡る	他の市町村から見て町づくり、道など取りかかりが遅い。
70歳以上	水島	継続は「力」なり	ホッケー等、市に根づかせたような事例が多くいい意味での保守的な所。
70歳以上	東蟹谷	おだやかでやさしいまち	市民性か他市町村との競争心があまりみられない。
70歳以上	宮島	自然が多いが、商工業に活力がない	商店街等、単期のイベントでなく（市民のみの楽しみ）、市外他、他県からの来市がみえる慣例事業。
70歳以上	松沢	活力不足	若者の声が少ない。

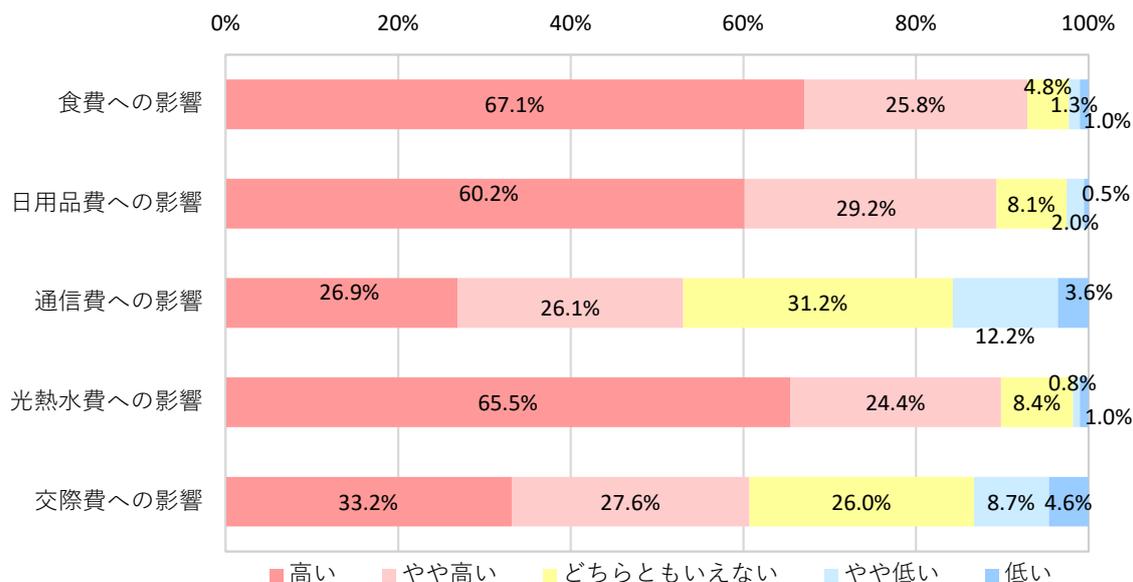
### ○物価高騰の影響について

今回調査では、物価高騰の影響について、「食費」、「日用品費」、「通信費」、「光熱水費」及び「交際費」に分類して聞いた。

最も影響を受けているのは「食費」で「ある」（「ある」、「ややある」計）が全体の92.9%、次いで光熱水費が89.8%、日用品費が89.4%となっているほか、他の設問においても「ある」の割合が50%以上の割合を占めている。

一方で影響が「ない」（「ない」、「あまりない」計）と答えた人の割合は、最大でも「通信費」の15.8%にとどまっている。

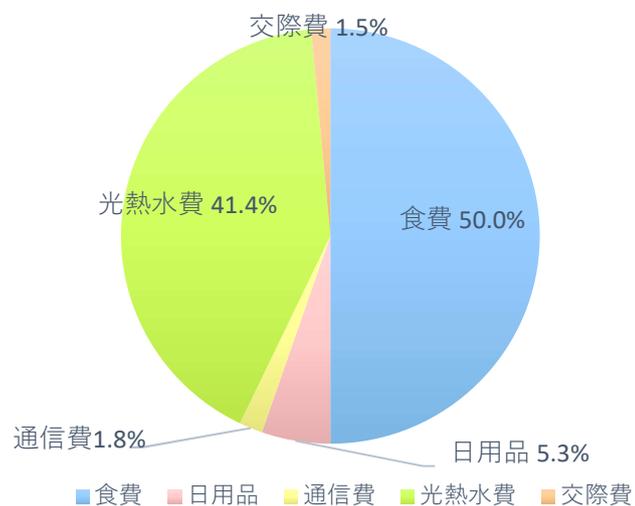
図表 10 物価高騰の影響について



また、最も影響のある家計費について聞いたところ、「食費」が 50.0%、「光熱水費」が 41.4%と全体の 91.4%を占めている。

なお、「日用品費」、「通信費」及び「交際費」については、それぞれ 5.3%、1.8%及び 1.5%という結果であった。

図表 11 最も影響のある家計費



## ○市への意見・要望など

今回の調査において、回答者のうち、161人の方から市への意見・要望をいただいた。その主な内容については、次のとおりである。

### 1 市政全般について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29歳	石動	生まれ育ったこの小矢部市は大好きです。心から応援しています。
20～29歳	石動	人口が3万人を下回って減少する一方で、財政的にも厳しくなっていると感じます。若者や子育て世代がずっと住み続けたいと思える”まちづくり”を徹底して行ってほしいです。
20～29歳	埴生	保守的だけでなく、変える姿勢も大切にしてほしい。
30～39歳	荒川	他県より多く移り住めるような市にしていきたい。
30～39歳	若林	住み始めた当初は正直なところ、何の愛着もない市町村でしたが、年々愛着が増していきます。ニュースで取り上げられそうなワクワクする企画・取組みなど引き続き宜しくお願いします。
40～49歳	津沢	自分が生まれ育った小矢部市がとても大好きです。高齢の母もいるので、福祉がより充実されるとずっと住み続けたい市になると思います。メルギューくんが大好きなので、もっともっと活躍してくれると小矢部市のイメージアップにつながると思います。
40～49歳	津沢	声の大きい一部の個人、団体に負けず、ブレずに成果をあげていただきたい。応援しています。
40～49歳	東蟹谷	小矢部市は何を目指しているのか、わからない。子育て？観光？農業？全て成功させるのは不可能。方向性を一つに絞りそれに全力を注いでほしい
50～59歳	藪波	人口も減少し続けていますが、このまま定住する楽しみも見つかりません。周辺地域から興味を持たれるような面白いまちづくりは進んでいるのでしょうか？
60～69歳	石動	活気あふれる、賑やかな小矢部市にして欲しいです。(20～30年前が懐かしいです。)

### 2 商業施設、市街地活性化について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29歳	埴生	ファストフード店を増やしてください。
20～29歳	松沢	商業施設を増やして欲しい。

年齢	居住 地区	市への意見・要望
20～29 歳	松沢	石動商店街が復活してほしいです。
30～39 歳	石動	駅南エリアの商業施設を増やしてほしい。
30～39 歳	若林	せっかくアウトレットがあるので、もっとその近辺から小矢部の活性化できるように工夫してほしい。
40～49 歳	南谷	駅前や商店街が活気ある場所になることで市のイメージが変わることを期待しています。

### 3 企業誘致、雇用対策について

年齢	居住 地区	市への意見・要望
20～29 歳	藪波	駅前やアウトレット周辺への企業誘致に尽力してほしい。
30～39 歳	松沢	小矢部で働きたいけれども、給料が低い。
50～59 歳	石動	お年寄りも大切ですが、子どもが遊べる、学べる体験施設や娯楽施設等、若者が楽しめる施設を誘致してほしい。
60～69 歳	石動	ビジネスホテルの誘致。宿泊施設が少なすぎる。
60～69 歳	松沢	地産地消の推進工場。
70 歳以上	東蟹谷	自然豊かな当市ですが、この立地条件を生かしてキャンプ場等のアウトドア産業を、稲葉山やクロスランド敷地内にあればいいと思います。

### 4 道路・上下水道などの都市基盤の整備について

年齢	居住 地区	市への意見・要望
20～29 歳	水島	冬の除雪をもう少し頻繁にしてほしい。
20～29 歳	石動	子どもたちの通学路だけでも街灯をふやしてくれるとありがたいです。小矢部市に来て街の暗さにおどろきました。
20～29 歳	石動	自分の自宅前交通量が多い。車の出入が大変。特にトラックが頻繁に通るため危険。規制してほしい。また、信号に矢印を付け加えてほしい。事故を防止し、安全に暮らすために。
30～39 歳	藪波	雪の除雪の対応が毎年遅く、全然学習してないと思います。こども園付近は特に徹底的にやるべき。

年齢	居住地区	市への意見・要望
30～39 歳	埴生	地盤を改良して欲しい。大きなトラックが通ると地震のように家が揺れる。
30～39 歳	石動	綾子の道路沿いの街路樹について、暖かい季節は伸び放題。手入れが追いついてない。視界も悪く運転していて危険に感じます。高い木はそのままでもよいが、手入れができないなら低い木は抜いてほしい。
30～39 歳	津沢	雪が多い箇所は、融雪装置があっても雪が溶けない。融雪箇所と除雪路線が交差する所が壁になり、通行止めになる。
30～39 歳	藪波	用水路に蓋がなくとても危険です。場所によってはコンクリートが倒れてきているところもあり、とても不安があります。
40～49 歳	北蟹谷	消雪パイプの区間を増やしてほしい。特に松尾地区。
40～49 歳	石動	子どもが安心して登校できるような道路整備をお願い致します。一旦停止をしない車、信号無視、薄くなった地面の「止まれ」などの標識、高齢者の危ない運転に遭遇することが多いので不慮の事故に遭わないか心配です。
60～69 歳	子撫	道路の除雪について、もう少し家側の方も実施してほしい。ガードレールがあるため、手で除雪を行うのが大変。
60～69 歳	松沢	道路に書いてある一時停止の線や「止まれ」の指示について、白線が消えている箇所、わかりづらく薄くなっている箇所を補修してほしい。
70 歳以上	水島	都市計画を明確にし、それに基づく道路整備等を行ってほしい。
70 歳以上	石動	城山公園を訪れる人が増えたが、トイレの整備をしてほしい。

## 5 公共交通について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29 歳	石動	石動駅でのスイッチバック運行をしてほしい。
40～49 歳	水島	近隣市街地への交通網の充実。高校生が悪天候時において通学手段がない。
40～49 歳	水島	乗合タクシーの取組は良いと思う。営業時間を 20 時ごろまで延ばしてもらいたい。
60～69 歳	松沢	免許返納したときのことを考えるともう少し交通の便利さが欲しい。ルートもあまりよくわからない広報の仕方をもう少し考えるべきと思う。
60～69 歳	子撫	市営バス等運行体制の維持・充実・継続。

年齢	居住 地区	市への意見・要望
60～69 歳	津沢	石動駅からの鉄道のダイヤの充実。朝、夕の富山方面の本数が足りない。事故や災害で石動まで列車が来ない。
70 歳以上	正得	運転ができなくなったときの病院通いが心配になる。
70 歳以上	藪波	加越能バスの運賃補助があればよい。

## 6 観光について

年齢	居住 地区	市への意見・要望
20～29 歳	埴生	大学生時代、稲葉山や滝に友人たちを案内すると、喜ばれました。もっとこの自然豊かな小矢部市をアピールしてもらえたらいいと思います。
20～29 歳	埴生	観光客が楽しめるスポットを増やしてほしい。
30～39 歳	埴生	メルヘンやめましよう。
30～39 歳	石動	空中カフェの開催期間を延ばしてほしい。
50～59 歳	石動	クロスランドで野外フェスを開催したらいいと思います。
60～69 歳	松沢	県外から、近郊から小矢部市に集まってくる集客できるような施設等を、市民から提案してもらうことが必要ではないか。

## 7 移住・定住について

年齢	居住 地区	市への意見・要望
30～39 歳	正得	人口減少が予想され、若い層が少なくなるので、若い世代が暮らしやすいように。小矢部市に住んだらこんなに良いことがあるとPR強化。小矢部市独自の政策に期待しています。
50～59 歳	東蟹谷	他の市町村へのベットタウン化を目指して、費用がかからず住めるように工夫が必要と思う。

## 8 環境、安全・安心について

年齢	居住 地区	市への意見・要望
30～39 歳	埴生	マットレス等の粗大ごみをどのように処理すればいいのかわからず困っている。市役所の案内などで処理業者と依頼の料金および手順を紹介してほしい。
40～49 歳	東蟹谷	防災無線のアナウンスが聞き取れないので、全世帯に聞き取れるような工夫を。

年齢	居住地区	市への意見・要望
40～49 歳	松沢	もし可能でしたら、不燃ごみの回収日を増やしていただけたらありがたいです。
40～49 歳	水島	空き家、空き地、管理者への除草作業の促進。
60～69 歳	石動	私は小矢部川東岸に住んでいるが、川が氾濫したら避難所はどこで、町内の車のない人と一緒に避難すべきなのか情報が何もわからない。
60～69 歳	松沢	庁舎の耐震化をお願いします。
70 歳以上	若林	剪定枝を環境センターまで持っていくにも手間と時間がかかり、不便です。
70 歳以上	子撫	自然環境にもう少し関心を持っていただきたいです。

## 9 行政、協働について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29 歳	松沢	富山や金沢の大学、大学生にもっとアプローチしたほうが良いと思う。またアントプレナーなどにももっとアプローチし、市政にかかわってもらおう。また、市民に市役所がもっと近い存在になれる施策をする。
20～29 歳	埴生	市の職員には、もう少しわかりやすく話をしてもらいたいです。
50～59 歳	若林	市役所庁舎内の職員さんに対応が非常によろしくない方がいらして嫌な思いをしたことがあります。周りの方もその対応や様子を見て注意されないのでしょうか。
60～69 歳	水島	市長さんにボランティアミーティングをしてもらいたい。
70 歳以上	正得	市民と行政の協働推進の灯を絶やさないように継続して欲しい。

## 10 子育て・教育、少子化対策について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29 歳	石動	少子化が進んでいる中、小中学校が生徒数に対して多いように感じます。統廃合をしていく必要があるのではないかと思います。
20～29 歳	若林	子どもにかかるイベント等の費用を助成してもらえるとうれしい。兄弟がいる家庭が多く、1 人分だけではないので、出費が多くなり迷うことがある。子ども達にはいろんなことに挑戦、経験させてあげたい。
20～29 歳	埴生	子どもが屋内で遊べる施設を作ってほしい。市外に行かないと遊ぶところがない。
20～29 歳	石動	市として、児童手当として現行の 15000 円ではなく、30000 円を 18 歳まで支給してほしい。

年齢	居住 地区	市への意見・要望
20～29 歳	松沢	大学や部活動に関する教育費の支援をお願いしたい。
20～29 歳	松沢	子育て支援の拡充（おむつ等の必需品支援や子育てに関する勉強会の開催）
30～39 歳	石動	子育て関連の予算を拡充して、子育て支援を充実してほしい。（給食費無償化、2人目、3人目以降の手当増額など）
30～39 歳	荒川	出産後、誕生祝い事業でバラの花束をいただいたのは嬉しかったが、産後の身体で花の世話をしなくてはいけないのは大変だった。特産品引換券もありがたいが、もっと実用的なおむつ交換券やカタログギフトなどがよい。第3子～第4子以降は多めのお祝い金がもらえるなど、インパクトのあるサービスがあったらいいなと思った。
30～39 歳	石動	子どもの保育園、入園の事で悩んでいる。入園申込期限以降に産まれた子どもは、希望する園に途中入園するのが困難。もっと0歳児をみる人員に余裕があればなと思います。
30～39 歳	北蟹谷	小、中学校の土曜日登校の際、弁当持参ではなく、給食で対応できないでしょうか？
30～39 歳	埴生	お米券配布も食費が助かりうれしいですが、現金のほうがいろんな支払いに使えるためうれしいです。
30～39 歳	藪波	私が住む自治会は子どもが少なく、我が子と10歳以上年の離れた数名しかいません。子どもが幼少期に身につける子ども同士の関わり合いができなくてとても残念に思います。
30～39 歳	石動	子どもたちが遊ぶ場所をもっと充実させてほしい。雨などが降った時、屋内で遊ぶ場所がない。
30～39 歳	石動	市民交流プラザで子どもたちが弁当を食べられるようにして頂きたいです。
30～39 歳	埴生	未満児の保育料について無償化に取り組んでほしい。育児休暇から復帰しても時短勤務などの選択をして給料が減る中、保育料の支払いもするのは大変。子が複数いる家庭は尚更。
30～39 歳	石動	子育て世帯へのお米券は大変ありがたいですが、他のものを選択できるといいかなと思います。
40～49 歳	藪波	学校給食の安全を希望します。なるべく農薬の少ない野菜や、遺伝子組み換えでない食べ物を。
40～49 歳	水島	部活動の地域移行について、規則が不明瞭で分かりづらい。ますます少子化が進行する中、生徒の不利益にならない様、臨機応変な対応をお願いしたい。

年齢	居住地区	市への意見・要望
40～49歳	若林	教育関係の支援体制、関わりが他自治体に比べ、非常に弱いと感じております。是非、他自治体の視察や情報交換を通じて、せめて他自治体と同程度の体系にして頂きたいと願います。
40～49歳	水島	津沢中学校の理科室にエアコンを設置してもらいたい。
60～69歳	松沢	こども園の保育士を増員し、こどもの教育を小さなうちに実施してほしい。
70歳以上	津沢	子育てが大変な親世代に代わって三世代でカバー出来れば、親の負担が軽減され、親が安心して育児出産が出来ます。

## 11 生涯学習、スポーツ、歴史・芸術文化について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29歳	荒川	市営の屋内プールや、スポーツジムなど気軽に通える施設があるといい。ゴミの焼却熱をプールに利用している地域もあるので、ゴミ焼却場や、火葬場の熱を利用するといいと思います。
20～29歳	松沢	クロスランドメインホールに色々なアーティストが来てくれるのはとても嬉しいので今後も引き続き開催してほしいです。
30～39歳	石動	図書館は使いやすい。もっと自習スペースがあるとありがたい。社会人も資格試験などがあり、勉強スペースの需要はあると思う。

## 12 地域医療、福祉について

年齢	居住地区	市への意見・要望
20～29歳	石動	産婦人科や耳鼻科などの医療機関が市内にあればうれしいです。
40～49歳	石動	発達障害児持ちでフルに働けないので何かしらの支援があるといい。障害児の通える高校や作業所があるなど、子どもの将来的な心配をなくす政策が欲しい。
50～59歳	北蟹谷	高齢者が不安なく暮らせるよう、子どもを産み育てられるようお願いします。学校、職場でのいじめがなくなるよう願っています。生きづらさを感じる人の寄れるところ、頼れるところがあればいいと思います。
50～59歳	石動	車を持たない高齢者の移動手段や楽しみ（身体機能維持）について、幅広い対策があれば生活しやすい小矢部市になると思います。「子供と暮らしているから大丈夫」ではなく協力を必要としている家庭もあるので、対策を考えていただけると嬉しいです。

年齢	居住 地区	市への意見・要望
50～59 歳	石動	子育て支援も重要ですが、超高齢化社会への対応もお願いします。
70 歳以上	埴生	生活保護の方々は何名おられますか。本当に必要なのか調査して頂きたいです。
70 歳以上	松沢	高齢者福祉施設の充実。近隣地域の施設のすばらしさなど参考に考えてほしい。
70 歳以上	石動	車に乗れて当たり前、インターネットが当たり前ではないので、色々な意味で弱い人の事も考えの中に入れて、生活の中で”困った”と言わなくてもいい小矢部市になればいいと思う。
70 歳以上	藪波	带状疱疹等のワクチン補助があるとよい。

### Ⅲ 使用した調査票

#### 調 査 票

##### I. あなたご自身のことについてお尋ねします。

それぞれの項目ごとに、該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

##### 問1-1 あなたの性別

1. 男性                      2. 女性

##### 問1-2 あなたの居住地区

1. 石動地区                  2. 南谷地区                  3. 埴生地区                  4. 松沢地区  
5. 正得地区                  6. 荒川地区                  7. 子撫地区                  8. 宮島地区  
9. 北蟹谷地区              10. 若林地区                  11. 津沢地区                  12. 水島地区  
13. 藪波地区                  14. 東蟹谷地区

##### 問1-3 あなたの年齢（令和5年7月1日現在）

1. 18～19歳                  2. 20～29歳                  3. 30～39歳                  4. 40～49歳  
5. 50～59歳                  6. 60～69歳                  7. 70歳以上

##### 問1-4 あなたの主な職業

1. 農林漁業                  2. 自営業（農林漁業以外）      3. 会社員                      4. 団体職員  
5. 会社・団体役員          6. 公務員                      7. パート・アルバイト      8. 専業主婦（夫）  
9. 学生                      10. 無職                      11. その他（具体的に：      ）

##### 問1-5 現在の世帯構成

1. 単身世帯（ひとり暮らし）      2. 一世帯世帯（夫婦のみ）      3. 二世帯世帯（親と同居）  
4. 二世帯世帯（子と同居）          5. 三世帯以上世帯（親と子と孫など）  
6. その他（                      ）

##### 問1-6 小矢部市にお住まいになってから通算で何年になりますか。

1. 5年未満                  2. 5～9年                      3. 10～19年                  4. 20～29年  
5. 30年以上

##### 問1-7 小矢部市以外にお住まいの経験はありますか。

1. ある                      2. ない

##### 問1-8 あなたの通勤・通学先

1. 小矢部市内                  2. 高岡市                      3. 砺波市                      4. 南砺市  
5. 射水市                      6. 氷見市                      7. 富山市                      8. その他富山県内  
9. 金沢市                      10. 津幡町                      11. その他富山県外          12. 通勤も通学もしていない

II. 次の評価事項について、小矢部市政の「現在の満足度」と「今後の重要度」についてお尋ねします。

問2 小矢部市では6つのまちづくりの基本目標ごとに「政策」を設定して総合計画を推進しています。以下の項目それぞれについて、右の欄の1～5の中からあなたの「満足度」に最も近いものを1つ選んで○を付けてください。

<まちづくりの基本目標 1 魅力あふれる産業と経済活力のみなざるまち>

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
1	農業・農村の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村環境保全の推進</li> <li>・農業経営の安定化</li> <li>・付加価値を高める農林水産業の推進</li> <li>・農業農村基盤の整備</li> <li>・地産地消の推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
2	商工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内商工業の活性化</li> <li>・地場産業の育成</li> <li>・買い物弱者*対策の推進</li> <li>・経営改善の支援</li> </ul>	1	2	3	4	5
3	地域ブランドの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小矢部ブランドの活用拡大</li> <li>・稲葉山牧野の経営安定化</li> </ul>	1	2	3	4	5
4	中心市街地の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市機能の誘導</li> <li>・誘客による賑わい創出</li> <li>・まちなか定住の促進</li> <li>・石動駅北エリア整備の促進</li> </ul>	1	2	3	4	5
5	企業立地の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誘致基盤の整備</li> <li>・誘致活動の推進</li> <li>・企業立地支援制度の充実</li> <li>・創業者支援の推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
6	雇用の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用環境の向上</li> <li>・雇用の促進、就労への支援</li> <li>・勤労者福祉の向上</li> </ul>	1	2	3	4	5

問2-1 上記の政策 1～6 のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで右の枠内に番号を記入してください。

答2-1

\*買い物弱者：地元小売業の廃業や既存商店街の衰退、交通網の弱体化などの理由により、食料品などの日常の買物が困難な状態に置かれている人のこと。

＜まちづくりの基本目標 2 人をよびこむ都市空間と多彩な交流でにぎわうまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
7	魅力ある市街地等の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地整備の推進</li> <li>・美しい景観の創出</li> <li>・都市機能を支える都市軸の形成</li> <li>・総合的な土地利用施策の推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
8	道路ネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高規格道路、国道及び県道等の整備促進</li> <li>・市道の整備推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
9	上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した水道水の供給</li> <li>・下水道事業・浄化槽設置事業の計画的な推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
10	公園・緑地の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親しみのある公園づくりの推進</li> <li>・公園・緑地の整備・管理の充実</li> </ul>	1	2	3	4	5
11	住宅・宅地の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅施策の充実</li> <li>・良好な住環境づくり</li> <li>・市営賃貸住宅の充実</li> </ul>	1	2	3	4	5
12	交通体系の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道利用の利便性の向上</li> <li>・市営バス等運行体制の維持・充実</li> <li>・その他の交通サービスの充実</li> </ul>	1	2	3	4	5
13	地域情報化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報ネットワーク基盤の整備</li> <li>・情報ネットワークの活用</li> <li>・ケーブルテレビ*事業の推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
14	観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源の整備・活用</li> <li>・観光受入態勢の充実</li> <li>・観光誘客・PRの充実</li> </ul>	1	2	3	4	5
15	地域間・国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間交流の促進</li> <li>・国際交流の推進</li> <li>・多文化共生の推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
16	移住・定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・U I J ターン*の促進</li> <li>・地域における受入体制の確立</li> <li>・おやべ暮らしの魅力発信と情報提供</li> <li>・地域おこし協力隊の受入推進</li> </ul>	1	2	3	4	5

問2-2 上記の政策 7～16 のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで右の枠内に番号を記入してください。

答2-2

\*ケーブルテレビ：有線テレビ放送（CATV）のこと。多チャンネル・双方向機能を有し、自主放送やインターネット接続などのサービス提供が可能である。

\*U I J ターン：大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻る形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態を指す。

＜まちづくりの基本目標 3 未来にやさしい環境と安全安心に暮らせるまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
17	地球温暖化防止活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の保全</li> <li>・温室効果ガス*排出量の削減</li> <li>・エネルギーの有効活用</li> </ul>	1	2	3	4	5
18	豊かな森の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林資源の適正な管理</li> <li>・森林資源の育成・活用</li> <li>・治山対策</li> <li>・生態系の保護</li> </ul>	1	2	3	4	5
19	雪に強いまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路除排雪の充実</li> <li>・消雪施設の整備</li> <li>・地域ぐるみの除排雪体制の充実</li> </ul>	1	2	3	4	5
20	生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの収集・処理体制の充実</li> <li>・循環型まちづくり*の推進</li> <li>・環境衛生と美化推進</li> <li>・公害の防止対策の推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
21	防災・危機管理体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災体制の充実</li> <li>・防災施設の充実</li> <li>・災害に強いまちづくり</li> <li>・危機管理体制の充実</li> </ul>	1	2	3	4	5
22	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防・救急関連施設・設備の充実</li> <li>・消防力の充実・強化</li> <li>・火災予防の推進</li> <li>・救急・救命体制の強化</li> </ul>	1	2	3	4	5
23	交通安全対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全活動の充実</li> <li>・交通安全施設の充実</li> </ul>	1	2	3	4	5
24	犯罪をおこさせないまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全なまちづくり推進センターの充実</li> <li>・防犯意識の高揚</li> <li>・犯罪の防止</li> <li>・消費生活の安全の確保</li> </ul>	1	2	3	4	5

問2-3 上記の政策 17～24 のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで右の枠内に番号を記入してください。

答2-3

\*温室効果ガス：大気圏にあって、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体の総称。対流圏オゾン、二酸化炭素、メタンなどが該当する。近年、大気中の濃度を増しているものもあり、地球温暖化の主な原因とされている。

\*循環型まちづくり：大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会に代わり、製品の再生利用や再資源化などを進めて新たな資源投入を抑え、廃棄物ゼロを目指すまちづくり。

＜まちづくりの基本目標 4 市民と行政が協働して自治体経営を支えるまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
25	市民と行政との協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政への参画機会の拡大</li> <li>・市民活動の促進</li> <li>・協働を推進する環境の整備</li> <li>・コミュニティ活動の促進</li> </ul>	1	2	3	4	5
26	男女共同参画社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等意識啓発の推進</li> <li>・男女共同参画推進体制の充実</li> <li>・ワーク・ライフ・バランス*の推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
27	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育・啓発の推進</li> <li>・相談体制の充実</li> <li>・人権擁護対策の強化</li> </ul>	1	2	3	4	5
28	開かれた市政の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報・広聴の充実</li> <li>・情報公開の推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
29	持続可能な自治体経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民サービスの向上</li> <li>・効率的かつ透明性のある行財政経営の推進</li> <li>・職員の資質向上と組織の活性化</li> <li>・広域行政・事業連携の推進</li> <li>・納税環境の充実</li> <li>・公共施設等の適正な配置と効率的な維持管理の実施</li> </ul>	1	2	3	4	5

問2-4 上記の政策 25～29のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで右の枠内に番号を記入してください。

答2-4

\*ワーク・ライフ・バランス：やりがいのある仕事と充実した私生活を両立させるという考え方。仕事と生活の調和。

＜まちづくりの基本目標 5 人をすこやかにはぐくむ教育と歴史文化がいきづくまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
30	学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を育む教育の推進</li> <li>・健やかな心身を育む教育の推進</li> <li>・多様なニーズに応える教職員の育成</li> <li>・安全安心な学校づくりと学校教育環境の整備</li> <li>・小中学校規模適正化の検討と対応</li> <li>・高等学校との連携推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
31	青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全な育成環境の整備</li> <li>・青少年活動の充実</li> <li>・家庭教育の拡充</li> </ul>	1	2	3	4	5
32	生涯にわたる学習活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進体制の充実</li> <li>・公民館を拠点とした地域の学習活動の充実</li> <li>・生涯学習活動内容の充実</li> <li>・生涯学習環境の充実</li> </ul>	1	2	3	4	5
33	生涯スポーツの促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツ活動の充実</li> <li>・生涯スポーツ施設の充実</li> <li>・指導者の育成と指導体制の充実</li> </ul>	1	2	3	4	5
34	芸術・文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術・文化活動の促進</li> <li>・文化施設の適切な管理運営と利用促進</li> <li>・文化施設の計画的な改修</li> </ul>	1	2	3	4	5
35	歴史遺産・文化財の保存と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財等の理解・関心を高めるための活用策の推進</li> <li>・文化財や伝統文化等の継承への支援</li> <li>・桜町遺跡*の活用推進</li> </ul>	1	2	3	4	5

問2-5 上記の政策 30～35のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで右の枠内に番号を記入してください。

答2-5

\*桜町遺跡：縄文時代の高床建物を証明する建築部材など次々と新しい発見をもたらし、従来の縄文観をくつがえす遺跡として全国レベルの高い評価を受けている。

＜まちづくりの基本目標 6 心がやすらぐ健康とあたたかな福祉で支え合うまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
36	地域医療体制の充実と健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療の充実</li> <li>・救急医療体制の充実</li> <li>・健康管理体制の強化</li> <li>・各世代に応じた健康増進事業の充実</li> <li>・心の健康づくりの推進</li> <li>・健康づくり活動の推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
37	社会保障の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度の適正かつ安定的な運営</li> <li>・国民健康保険制度の適正かつ安定的な運営</li> <li>・後期高齢者医療制度の適正かつ安定的な運営</li> <li>・国民年金制度の普及・啓発</li> <li>・生活支援制度の充実と自立の助長</li> </ul>	1	2	3	4	5
38	地域ぐるみ福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉の心」の醸成</li> <li>・地域福祉活動の促進</li> <li>・福祉ボランティア活動の促進</li> <li>・福祉のまちづくりの推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
39	結婚支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚活動への支援</li> <li>・結婚新生活への支援</li> </ul>	1	2	3	4	5
40	妊娠・出産・子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠・出産への支援</li> <li>・子育て支援の充実</li> <li>・ひとり親家庭等への支援</li> <li>・子どもの権利の擁護</li> </ul>	1	2	3	4	5
41	就学前教育・保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育の質の向上</li> <li>・保護者の多様なニーズへの対応</li> </ul>	1	2	3	4	5
42	障害者及び障害児福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の早期発見と対応の充実</li> <li>・障害のある人の権利擁護</li> <li>・障害者福祉サービスの提供基盤の整備充実</li> <li>・自立と社会参加の促進</li> <li>・障害者福祉の総合的な取組の推進</li> </ul>	1	2	3	4	5
43	高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超高齢社会への対応</li> <li>・生きがい対策の充実</li> <li>・高齢者組織への支援</li> <li>・地域包括ケアシステム*の推進</li> <li>・施設サービスの充実</li> </ul>	1	2	3	4	5

\*地域包括ケアシステム：高齢者や障害者が、住み慣れた地域で、安心して自分らしい生活を送れるように医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加、地域の助け合い、教育が包括的に確保された社会システムのこと。



問3-5 問3-4で「4」又は「5」を選択した人にお聞きします。問3-4で選択した理由は  
何ですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 通勤・通学が不便     | 2. 買い物などの日常生活が不便        |
| 3. 保育・教育環境が不十分  | 4. 医療機関や福祉サービスが不十分      |
| 5. 働く場所が少ない     | 6. 娯楽施設など遊べる場所が少ない      |
| 7. 治安が悪く、暮らして不安 | 8. 雪の多さ・冬の寒さが厳しい        |
| 9. 住宅に不満がある     | 10. 地価や家賃が高い            |
| 11. 地域に溶け込めない   | 12. 進学や転職の都合で当面居住しているだけ |
| 13. その他 ( )     |                         |

次は問4へ

#### Ⅳ. 人口増加に向けた取組についてお尋ねします。

問4 小矢部市が実施又は実施予定の取組について、もっと充実してほしい施策は何ですか。  
次の中から3つ選んで○を付けてください。

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 企業誘致の推進（働く場所の確保）  | 2. U I J ターンの促進       |
| 3. 農林業における担い手の確保育成   | 4. 住宅施策の充実（空き家対策含む）   |
| 5. 道路・交通ネットワークの充実    | 6. 商業施設の誘致            |
| 7. 石動駅周辺整備や中心市街地の活性化 | 8. 移住・定住を促進する助成制度の充実  |
| 9. 結婚支援の推進           | 10. 妊娠から子育てまで切れ目のない支援 |
| 11. 教育及び生涯学習環境の整備    | 12. 安心して暮らせる生活環境の整備   |
| 13. 地域医療体制の充実        | 14. その他 ( )           |

#### Ⅴ. 小矢部市に対する愛着や誇りについてお尋ねします。

該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

問5-1 あなたは小矢部市に愛着や誇りを感じていますか。

- |              |               |              |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 感じている     | 2. やや感じている    | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり感じていない | 5. まったく感じていない |              |

問5-2 小矢部市を一言で自由に表現してください。また、その理由を教えてください。

(例) 一言で : 自然が豊かなまち

その理由 : 稲葉山や宮島峡、俱利伽羅等の自然に囲まれているから。

一言で :

その理由 :

**VI. 物価高騰が家計に与える影響についてお尋ねします。**

問6-1 以下の項目それぞれについて、右の欄の1～5の中から最も近いものを1つ選んで○を付けてください。

番号	質問項目	ある	ややある	どちらともいえない	あまりない	ない
1	食費に影響はありますか。	1	2	3	4	5
2	日用品費に影響はありますか。	1	2	3	4	5
3	通信費に影響はありますか。	1	2	3	4	5
4	光熱水費に影響はありますか。	1	2	3	4	5
5	交際費に影響はありますか。	1	2	3	4	5

問6-2 上記以外の影響の「ある」家計費があれば記入してください。

( )

問6-3 問6-1と問6-2の中で、最も影響の「ある」家計費を1つ記入してください。

( )

**VII. 市への意見・要望がありましたらご記入ください。**

( )

ご協力いただき、ありがとうございました。